

# あなたとつなぐ

## 甲こうか賀

### 市議会だより

vol.

52

2017/10/10



## Contents

- 02 議案審議・補正予算・意見書
- 04 決算特別委員会
- 06 常任委員会報告
- 08 庁舎整備特別委員会・広報特別委員会
- 09 一般質問/市の考えを問う
- 20 こうか再発見Vol.24

新しい仲間とはじめての運動会(生山小学校)

## 議案審議・補正予算・意見書

# 決算認定・補正予算・条例案件等を慎重審議

平成29年9月定例会は8月23日から9月21日の30日間にわたり開催されました。平成28年度一般会計をはじめ、各会計決算認定11件、人事案件2件、条例案件4件、平成29年度補正予算7件、その他案件1件、意見書7件が慎重に審議されました。また、報告事項として、財政の健全化状況、信楽高原鐵道・あいコムこうかの経営状況等9件の報告を受けました。その主な内容は次のとおりです。

### 平成28年度決算

- ◆ 一般会計
- ◆ 国民健康保険特別会計
- ◆ 後期高齢者医療特別会計
- ◆ 介護保険特別会計  
(以上4件、賛成多数にて認定)
- ◆ 土地取得事業特別会計
- ◆ 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計
- ◆ 病院事業会計
- ◆ 水道事業会計
- ◆ 診療所事業会計
- ◆ 介護老人保健施設事業会計
- ◆ 下水道事業会計  
(以上7件、全員賛成にて認定)

### 条例の一部改正

- ◆ 甲賀市役所の位置を定める条例
- ◆ 税条例等
- ◆ 児童クラブ条例
- ◆ 教育研究所条例  
(以上4件、全員賛成にて可決)

### 平成29年度補正予算

- ◆ 一般会計(第2号・3号)
- ◆ 国民健康保険特別会計(第1号)
- ◆ 後期高齢者医療特別会計(第1号)
- ◆ 介護保険特別会計(第1号)
- ◆ 土地取得事業特別会計(第1号)
- ◆ 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計(第1号)  
(以上7件、全員賛成にて可決)

### 財産の処分

- ◆ 市有地の処分(甲賀町)  
甲賀町神の市有地(165.28㎡)を地縁団体神区に譲渡  
(全員賛成にて可決)

### 議会への報告

9月議会では財政の健全化や第三セクターの経営状況等が報告されました。

### 人事

- ◆ 人権擁護委員の推薦  
村木 すみ子氏  
(土山町黒川)  
中川 法隆氏  
(甲南町寺庄)  
(以上2件、全員賛成にて適任)
- 信楽高原鐵道(株)
- (有)グリーンサポートこうか
- 土山町緑のふるさと振興会
- 甲賀創健文化振興事業団
- あいの土山文化体育振興会
- (株)あいコムこうか
- 以上6件の経営状況の報告
- 平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率
- 道路損傷による事故の和解及び賠償の専決処分 2件

# 議会で審議したもの

平成29年度 一般会計補正予算の主な内容	
主な歳出項目	金額 (万円)
コミュニティ推進基金積立て	18,600
甲南第一小学校大規模改造事業	44,180
水口体育館整備事業 (設計)	4,430
(仮) 西部学校給食センター建設事業 (設計)	4,460

**補正予算特別委員会**  
 補正前の予算総額 39億8091万9千円  
 補正後の予算総額 40億8億3303万5千円  
 (13億5211万円6千円増額)  
 (全員賛成可決)

### 甲賀市議会の会派構成が変わりました。

9月19日付けで「志誠会」が結成されました。新しい会派構成は右のとおりです。

- 清風クラブ 8人
- 市民クラブ・新しい風 6人
- 公明党甲賀市議団 3人
- 日本共産党甲賀市議員団 3人
- 志誠会 3人
- 無所属 3人
- 欠員 1人



大規模改造工事(甲南第一小)

意見書												
意見書	提案者	討論		清風クラブ	市民クラブ・新しい風	公明党	共産党	志誠会	無所属			可否
		反対	賛成						鵜飼議員	谷永議員	田中喜議員	
森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書	田中將	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書	加藤	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書	白坂	—	—	○	● 服部	○	○	○	● 戒脇	○	○	可
核兵器禁止条約に賛同、調印することを求める意見書	安井	加藤	山岡	●	○ 橋本律	●	○	●	●	○	○	否
オスプレイの配備撤回、陸上自衛隊への導入中止を求める意見書	小西	—	安井	●	○	●	○	●	●	●	●	否
原発事故の危険と重大さを直視し、直ちに運転停止を求める意見書	山岡	山中	小西	●	○	●	○	●	●	●	●	否
「削減ありき」から決別し社会保障制度の拡充を求める意見書	山岡	橋本律	小西	●	○	●	○	●	●	●	●	否

# 決算特別委員会

## 会計別 歳入歳出決算

### 一般会計

(単位：円)

	平成28年度	平成27年度	前年度増減額	前年度比(%)
歳入	425億3278万3466	383億569万1735	42億2709万1731	+11.0
歳出	413億686万9937	373億5718万3799	39億4968万6138	+10.6

### 特別会計

	平成28年度	平成27年度	前年度増減額	前年度比(%)
歳入	188億5509万226	232億8749万1746	-44億3240万1520	- 19.0
歳出	182億274万7881	225億7714万3969	-43億7439万6088	- 19.0

### 企業会計

	平成28年度	平成27年度	前年度増減額	前年度比(%)
歳入	107億8735万33	52億9858万5368	54億8876万4665	+103.6
歳出	118億4052万1682	56億2165万8628	62億1886万3054	+110.6

平成28年度一般会計決算は決算特別委員会に、国民健康保険特別会計をはじめ5特別会計決算と、病院事業会計など5企業会計決算は、それぞれ所管する常任委員会に付託されました。決算特別委員会では、収納状況、予算執行にあたっての問題点を指摘するなど、慎重に審査。また、今後の新年度予算に反映されるよう提案しました。

# 平成28年度一般会計決算審査

### 総括質疑

Q 市税の収入未済額について、改善されてきているが今後の方針は。

A 過去の旧町時代のものがあり、今年度からチャレンジプラン31で積極的に取り組む。

Q 公共施設の土地の借地は適切でない。何回も指摘してきた。早急に買取すべきと考えるが。

A 旧町から借地を継続しているものがある。安価な契約変更や買取に応じていただけるよう交渉していく。

### 総合政策部

Q 市長直轄組織が統合され半年。大きな災害はないが影響は。

A 規模は大きくなったが、職員意識がそれぞれ危機管理を担当する自覚と、部長級も2人体制と

いうことで強化された。

Q 地域情報化推進事業・あいコムこうかは黒字となったが、貸付金の返済は順調にできるか。

A 7億4千万円貸付けているが、計画どおり指導強化したい。

Q 地域おこし協力隊は、委嘱の段階で地域と協力してやっていくことが盛り込まれているか。

A そのことを了解の上で応募され、連携を密にしている。

Q 消防団の組織再編の模索は、いつまでか。

A 基本的な方針を本年度定める。

### 総務部

Q 包括外部監査の95項目の指摘は主に何か、費用対効果は。

A 31項目が、法令・条例等に反している。相当の経費が掛かっているのが今後見極め改善を図る。

Q 土地台帳の整備状況はどうか。

A 23年度に土地、24年度に家屋の財産台帳を整備、今日の時点ではできていない。

### 上下水道部

Q 水洗化率の今後の目標は。

A 市は平成37年度99・1%としている。

# 決算特別委員会

## 市民環境部

Q 資源ごみ売却明細で金属の予算と決算の差が大きい。

A 入札結果で売却単価が154円から54円と下落したため。

Q 信楽産廃処理場貸賃の将来は。

A 現在400万円。平成28年度から5年間の契約で、この間に見直しを考えるが、方向性は明言できない。

## 健康福祉部

Q がん検診受診者の減少原因は。

A 高齢化により既に受診。バリウム検診を拒む傾向あり。

Q 国は介護保険、子育て、生活支援制度を地方に任そうとしているが、区や自治会での取り組みは。

A 自治振興会の関係で国の補助事業に来年度取り組む。今後取り組みを考える。

## 子ども政策部

Q 保育士確保・受け入れ充実事業でマンパワーは確保できたか。

A 大きい7園に11名を配置。引き続き充実を図る。

Q 幼保再編の担当課と考え方は。

A 水口地域は保育幼稚園課が中心となり、佐山の協議会には担当課として職員に入っている。施設の改修等は再編に関係なく進める。

## 産業経済部

Q 住宅リフォーム制度の利用者は。2回目からの補助は。

A 28年度まで3248件、28年度は445件。2回目からの補助は検討する。

Q 老朽化の、ため池管理はどうか。

A ため池は476か所あり、老朽化が進んでいる。昨年度甲賀町で、来年度も水口で改修予定。

## 建設部

Q 甲賀の工業団地、今後の予定は。

A 16haの実施に向け動いている。土地区画整備事業の組合設立を進め、企業誘致も進めている。

Q ①公共交通の輸送人員のカウントは。②コミタクの契約更新は。③SKRの保守管理は出来高で支払いか。

A ①定期券、回数券、乗車券で把握。②コミタクはプロポーザルで滋賀タクシーに決定。③SKR

は、最終清算する形をとっている。

Q 市営住宅の更新計画はどうか。

A 新築は検討中で、水口町古城ヶ丘が順番となる。

Q 河川の浚渫はどうか。

A 要望は多く、県が河川の断面を計り、基準以上であれば実施。それ以外は様子見で県へ要望していく。

## 教育委員会事務局

Q 幼保・小中再編計画の今後は。

A 自治振興会長や区長等も代わり、個別に説明する。

Q 給食費滞納者への法的措置はどうか。

A これまでではない。支払い督促法等措置を講じる。



完成した新庁舎

## ◆ 討論

### 反対討論

歳入については、収入未済額が18億円強あり取り組み強化を。遊休地の活用、基金について必要な施策への取り崩しも必要。

歳出では、子ども医療費の拡大、住宅リフォームの拡充などやるべき、学校のエアコン、トイレの洋式化など評価できる点もあるが、地域情報化、自治振興会の補助、コミバス、学校再編など問題点も多く反対。

### 賛成討論

小中学校のエアコン設置や便所の改修、全小学生の医療費の無料化、三子保育料無料化、女性の活躍への応援、保育士の就労改善など、前向きな事業展開となっている。

市長が年度の途中で交代し厳しい状況だったが、市全体の現状を良く把握し、市政の運営を滞りなく執行された。よって賛成。

### 採決の結果

#### ◆ 委員会・本会議

賛成多数により認定すべきものと決しました。

# 常任委員会報告

## 総務常任委員会

### 付託議案

9月15日に委員会を開催し、議案5件について慎重に審査しました。

### 特別会計

#### ◆土地取得事業特別会計決算

土地開発基金の運用等について質疑をしました。

Q 旧甲賀病院跡地利用に関連して滋賀中央森林組合との契約期間は。また、契約解除は可能か。

A 単年度契約で自動更新となり、契約解除は双方の話し合いによる。

#### ◆甲賀市土地取得事業特別会計補正予算

◆財産の処分につき議決を求めること

地縁団体への財産処分について質疑をしました。

Q 地縁団体の設立はいつか。

A 平成15年5月28日の設立。

Q 市内の地縁団体の全体像を把握しているか。

A 把握はしておらず、調査が必要である。

### 条例の一部改正

◆甲賀市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定

Q 条例改正により名称変更となることを市民に示す計画はあるか。

A 条例改正後は、甲南庁舎という名称がなくなり、甲南第一地域市民センターとなる。広報、区長文書配布等により周知する。

#### ◆税条例等の一部を改正する条例の制定

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、税条例等の一部を改正することについて質疑をしました。

Q 今回の改正は、税額等に影響はないか。

A 名称のみの変更であり、税額等に影響はない。

(以上5議案・全員賛成にて可決(認定))



総務常任委員会の様子

## 所管事務調査

甲賀市ふるさと納税制度のリニューアルについて、平成28年度の甲賀市総合計画の実施状況と、甲賀市市民参画・協働推進検討委員会の設置についての報告を受けました。

ふるさと納税制度は、10月2日から199品を返礼品としてリニューアルします。

## 民生常任委員会

### 付託議案

9月14日に委員会を開催し、議案9件について慎重に審査しました。

#### ◆国民健康保険特別会計決算

財政の健全化に向け、予防対策等の質疑を行った。

### 反対討論

国の社会保障の一環であるにも関わらず、国の手当てが低すぎる。よって、反対。

### 賛成討論

市町単位で考えられる問題ではなく、税負担も公平性の観点からやむを得ない。よって賛成。

#### ◆後期高齢者医療特別会計決算

医療費の伸びや健診、保険料の滞納等の観点から審査。



民生常任委員会の様子

反対討論  
後期高齢者の切り離し、軽減制度など制度そのものが問題であることから、反対。

### 賛成討論

国保と切り離し、高齢者が安心して医療を受けられる制度。ルールに乗っ取った決算であり、賛成。

#### ◆介護保険特別会計決算

介護予防、特養等の施設整備に関わる点から審査。

### 反対討論

施設整備が保険料に跳ね返るような制度であり、反対。

### 賛成討論

本制度により救われる方も多いことから、賛成。  
(以上3議案、賛成多数にて認定)

#### ◆診療事業会計決算

#### ◆病院事業会計決算

#### ◆介護老人保健施設事業会計決算

# 常任委員会報告

3 議案ともに一層の経営努力を促し、各施設の必要性を高める施策を求めました。

(以上3 議案、全員賛成にて認定) 平成29年度

- ◆ 国民健康保険特別会計補正予算
  - ◆ 後期高齢者医療特別会計補正予算
  - ◆ 介護保険特別会計補正予算
- (以上3 議案、全員賛成にて可決)

## 文教常任委員会

### 付託議案

9月19日に委員会を開催し、議案2件について慎重に審査しました。

- ◆ 児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について
  - ◆ 教育研究所条例の一部を改正する条例の制定について
- (以上2 議案、全員賛成にて可決)

### 所管事務調査

◆ 放課後児童クラブの状況について  
 ◎ 夏休みに増加した児童クラブはどこか。

▲ ほとんどで増えている。変動なしは伴谷東、油日、甲南そまっこ児童クラブ、減っているのは甲南わかわか、甲南そまっこ第2、甲南なかよし、雲井くもっこ児童クラブ。

◎ 児童クラブが学校内にある施設はどこか。

▲ 伴谷、伴谷東の一部、佐山、甲南そまっこ、雲井くもっこが学校施設を利用。

国でも学校施設の活用を勧めているので、空き教室の利用の面からも、学校教育に影響のない範囲で教育委員会と調整し、子どもへの支援のベストを考えていきたい。

◆ 幼保、小中学校再編検討協議会の状況について

◎ 再編することが協議会で決定しているところはあるか。

▲ 山内地域では小学校は閉校式もしており決定しているが、幼保の部分はまだ決定していない。その他の地域は決定していない。

◆ 水口体育館天井板の落下に伴う応急対策について

◎ 水口体育館の説明については地域での説明会と同様の説明か。

▲ 水口庁舎周辺の土地利用の一部として説明した。今後、現体育館は取り壊して駐車場にし、新体育館は旧甲賀病院跡地に新築の計画である。

◎ 雨漏れが原因、点検方法に変更はあるか。

▲ 点検方法については改善点が見つかっていない。雨の後の見回りは続けていく。



修繕中の信楽体育館の視察様子

## 産業建設常任委員会

### 付託議案

9月15日に本委員会に付託された4件の議案を慎重に審査しました。

◆ 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計決算

本会計は、野洲川の基幹水利である野洲川ダムと水口頭首工に係る施設管理を行うための会計で、歳入は県補助金と関係5市及び野洲川土地改良区の負担金、歳出は管理業務委託、保守点検業務委託などです。

主な質疑では、予算額に対し決算額が限りなく近い額となっている理由、管理業務の人員体制に関する質疑。

◆ 甲賀市水道事業会計決算

年間配水量は1,319万m<sup>3</sup>、有収水量は1,148万m<sup>3</sup>で有

収率は87・03%で前年度より0・45%減。年度末給水栓数は34,410栓。

平成28年度の主な事業は配水連絡管整備事業、水道施設アセットマネジメント計画策定事業、老朽管の布設替え工事等とのこと。

主な質疑は、漏水還付の内容、不納欠損と給水停止の内訳。

◆ 甲賀市下水道事業会計決算

昨年度までの公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計が、平成28年度から公営企業会計に移行されたものです。

主な質疑は企業債の繰り上げ償還の考え方、本市の水洗化率の県内の位置等。

◆ 野洲川基幹水利施設管理事業特別会計補正予算

歳入歳出予算に344万2千円を追加するもの。(以上4 議案、全員賛成にて認定(可決))



産業建設常任委員会の様子

## 庁舎整備特別委員会・広報特別委員会

### 庁舎整備特別委員会

5月8日から新しい庁舎での執務が始まり、5カ月が経過しました。11月には甲南庁舎の教育委員会が、さらに12月末には上下水道部が本庁に執務を移すため、来年1月からは文字通り、甲賀市役所本庁舎としての機能が発揮されます。

同時に老朽著しかった甲賀大原地域市民センターも新築され、本庁の供用開始と同時に新センターでの業務がスタート。信楽地域市民センターも伝統産業会館と一体の施設として、31年9月に完成予定です。

熊本地震等で市役所庁舎が倒壊する場面をテレビ等で視るにつけ、あらためて防災拠点としての市役所機能の強化が求められています。

議会では、平成25年12月に「庁舎整備特別委員会」を発足させ、この間22回の委員会を開催し、諸課題の調査・研究をもとに、市に対して提言なども行ってきました。免震構造で



新しい庁舎の前で(庁舎整備特別委員会)

防災拠点機能を強化するとともに、利便性の向上、環境に優しい施設となるよう積極的提案を行いました。

総事業費は約68億円。合併特例債を活用して市民の負担を極力軽減するとともに、工事についても、建築主体・電気設備・機械設備と分割発注し地元業者も参画できるように、大手建設会社とのJV(共同企業体)方式の採用を提案、信楽焼や地元産材を活用するなどの努力とともに、障がい者団体らと話し合いを重ねることにより、ユニバーサルデザインにも力が入れられました。

実際に使用してみると改善点が多くみられ、そのひとつひとつをチェック、具体的改善点を見届ける役割も果たしてきました。

8月18日に福岡県福津市議会の広報調査特別委員会より事務局の方を含め7名が、視察研修に来庁されました。わが市の「議会だより」は、議会事務局のバックアップはあるものの、主として議員自らが編集等を行っていること、さらに議会広報のコンクールでたびたび受賞していることで、他市から多くの視察研修があります。

今回は、議会だよりがスマホ・タブレットで閲覧できること、広報の一般質問に添付しているQRコード、障がいのある方にも配慮した声の議会だより、また、市内への配布方法等が視察研修目的です。

### 広報特別委員会

ようこそ甲賀市へ  
福岡県福津市議会が来庁

一般質問QRコードや  
声の議会だよりを研修

法は、新聞折込(3万800部)、新聞を取っていない方への個別郵送(600部)、市内公共施設への設置(500部)です。福津市は、発行部数2万5千部を行政区に分けて、区単位で市民の皆さんで配布されているようです。いろいろ限界を感じておられるのでしょうか。

また、QRコードにも大変興味を示されて、採り入れる意欲を感じました。

「福津市議会だより」を拝見すると、大きな文字で大変見やすい紙面です。わが市も学ぶところは多く、お互いに学びあえる貴重な2時間でした。



福津市議会だより



# 20人の議員が市の考えを問う

平成29年  
9月1日・4日・5日・6日

## 目次

### 平成29年 第4回甲賀市議会定例会一般質問

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	戎脇 浩	1 中心市街地の道路改善について 2 行政運営にかかる説明責任について	10	林田 久充	1 人口減少社会における未来予測について 2 甲賀市観光振興計画について
2	竹村 貞男	1 食品ロス問題と困窮者支援について 2 大学生等の滋賀県内・甲賀市内への就職促進を	11	山中 善治	1 ふるさと納税について 2 ボランティア活動について 3 地域おこし協力隊等について
3	田中 喜克	1 甲賀市消防団員の欠員状況と今後地域防災の考え方について 2 スタートした「JR貴生川駅周辺整備計画」を甲賀市発展の要となる総合施策としての実施展開を 3 2021年全国植樹祭の滋賀県での開催は、ぜひ甲賀市の飯道山山系を背負う 柚の里で 4 水口市街地の慢性道路渋滞を解消できる、国道名坂・中邸・北内貴に至る道路の整備促進を	12	田中 新人	1 都市計画道路「泉・北脇幹線」について 2 日本女子ソフトボール1部リーグ甲賀市開催について
4	田中 將之	1 ダイバーシティ(多様性)推進に向けて道路陥没予防調査(路面下空洞調査)について 3 甲賀市災害時要支援者避難支援計画について 4 旧水口庁舎庭園の樹木等の活用について 5 甲賀市の未来に向け起業家育成を	13	安井 直明	1 国の悪政に対して市民を守る立場から市長の所見を問う 2 市民の切実な願い、市長の思いを新年度予算に反映せよ 3 クリーンセンター滋賀建設事業に関する協定書に記載の「土山町地域振興計画書」の今後の取り組みについて 4 二元代表制の認識と今後の議会への対応等を問う
5	森田 久生	1 老朽化が進む当市公共施設等の今後の維持管理の方針について 2 日本遺産の認定を受けた「甲賀忍者」を核とした当市の観光振興について	14	谷永 兼二	1 地域包括ケアシステム時代における地域連携の役割は 2 児童虐待の現状と対策について
6	森嶋 克巳	1 甲賀流忍者観光発信拠点と道の駅構想について 2 新名神甲南PAからICへの流出経路について 3 甲賀市通学路交通安全プログラム及び甲賀市交通安全対策について 4 JR草津線と甲南駅の呼称変更の提案とJR草津線の利用促進策について	15	橋本 律子	1 生活困窮者支援事業の実態・学習支援事業の今後 2 甲賀の地方創生について
7	白坂萬里子	1 子育て世代包括支援センターの反響と今後の計画は 2 幼保・小中学校再編計画と今後の支援は 3 乳がん検診に超音波検査の導入を	16	橋本 恒典	1 市周辺部の活性化について 2 青少年団体活動の現状と市の支援について 3 広島平和記念事業の成果と課題について
8	山岡 光広	1 核兵器禁止条約の締結、核兵器廃絶に向けた取り組みについて 2 甲賀市手話言語条例の制定について 3 災害に強い福祉のまちづくりへ ①老朽消防ホースの更新について 4 災害に強い福祉のまちづくりへ ②局地的豪雨などによる被害を少なくするために河川改修促進、河床の土砂堆積など浚渫を行うべき 5 子どもの医療費無料化拡充、早期に中学校卒業まで拡大を	17	竹若 茂國	1 甲南庁舎の活用について 2 日本遺産 忍びの里 甲賀・伊賀 -リアル忍者を求めて- を甲賀市のまちづくりに、どう活かすのか!! 3 市内の体育施設、文教施設の在り方について 4 障害者スポーツの在り方について
9	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて 2 新たな住宅セーフティネット制度の活用について 3 健康長寿社会の実現に向けて 4 地方自治体の知的財産制度への対応について	18	小西喜代次	1 (仮称)西部学校給食センター建設予定地について 2 信楽運動公園の整備を求める 3 公共交通のさらなる改善を求める 4 学校トイレ改修計画の見直しを求める 5 信楽のアレフ施設への対策を
			19	土山 定信	1 クリーンセンターの着工時の地元説明に疑問 2 市道北土山・猪鼻線の拡幅工事早期着工に 3 東海道観光戦略について
			20	小河 文人	1 「創造都市・甲賀」を目指すには 2 文化財の保護と活用について 3 甲賀市ものづくり振興条例制定について

#### ■答弁者の凡例

危機・安全管理統括監	危機統括監	総合政策部長	総政部長	市民環境部長	市環部長
健康福祉部長	健福部長	産業経済部長	産経部長	こども政策部長	こ政部長

公職選挙法メモ

議員が選挙区内にあるものに対して寄付をすることは、いかなる名義でも禁止されています。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

浩 戒脇

市民への説明責任の重要性は

信頼関係構築のために極めて重要



Q まちづくり基本条例第30条の条文に「市長等は行政運営の情報を、計画段階から適時かつ適切に公表し、説明責任を果たすよう努める」とある。しかし現在その説明のあり方は、市民の皆様に満足いただけていないと感じる。条文をどのように理解されているのか。

A 市長 説明責任を果たすことは、市民と市が相互に信頼関係を築きながら、協働によりまちづくりを推進するために極めて重要であると認識している。

Q 現在計画中の水口体育館の新築移転は計画の適時性に疑問があり、事業推進中の重症心身障害者通所施設の整備は、計画段階から説明しているとは言い難いと考えますが、認識はどうか。

A 市長 計画性のあり方が、現在の最も大きな課題であると考えている。まず庁内協議をしっかりと行い、議会に説明し協議する。そして市民に説明、協議し、必要が

あれば、これを何度も重ねた上で、最終的な方向性を見い出す。これらを行うことが、政策推進のために極めて重要であると考えられる。このことが十分にできていないことから、その改善のため現在これらの政策立案プロセスの見直しを全庁的に行っている。



建替えが待たれる、現水口体育館

眞男 竹村

食品ロス削減と困窮者支援は

大変有意義な取り組みである



Q 子ども食堂はあるか。その意義は。

A 政部長 市内に6カ所。食事を通じて、地域ぐるみで子どもを見守り育てていく役割。

Q 「三〇・一〇運動」の取り組み状況は。

A 市環部長 昨年12月の広報で紹介。その後チラシで飲食店等への協力を依頼。今年度5回の出前講座で推進している。

Q 食品ロス削減についての市民への啓発は。

A 市環部長 昨年の広報で、賞味期限と消費期限の違いや取り組み事例を掲載した。今後もすぐに出る消費者の取り組みなどを広報で取り上げ、食品ロス削減が進展するような啓発を行う。

Q 大学生等の滋賀県内・甲賀市内への就職促進のため、インターンシップ(就業体験)を実施しては。

A 産経部長 人材及び雇用の確保に効果的であるので、県では昨年



インターンシップの拡大が望まれる甲賀市役所

10月に「滋賀インターンシップ推進協議会」を立ち上げ、県全体で取り組んでいる。市役所におけるインターンシップについては、本市市政を理解してもらい、志の高い職員を確保する上で非常に有効。本年7月から実施している保育士・幼稚園教諭の他、一般行政職などにも導入を検討していきたい。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 喜克

**Q** 消防団員の欠員の解消を

**A** 組織再編計画を策定する



**Q** 国道名坂〜中邸〜北内貴に至る幹線道路整備促進で、水口市街地の慢性的道路渋滞の解消はできないか。

**建設部長** 水口市街地の道路渋滞解消は、既存道路2線改良では費用や時間的に無理。仮称・水口北内貫線整備は優位である。幹線道路網の評価対象路線と位置付け、事業の優先度を決める。

**Q** 2021年全国植樹祭の滋賀県開催は、甲賀市の飯道山系を背負う「杣の里」でぜひ開催を。

**市長** 本市での開催には、有する広大な水源涵養林や高い市民の緑化意識、加えて日本遺産認定など有効な開催誘致アピールがある。

**産経部長** 杣川流域は古来より林業にかかわる歴史的経緯から植樹祭の「植樹を行う場所」として魅力的な地域である。

木材活用・全天候型木製ドーム建設は、検討に値する。

**Q** JR貴生川駅周辺整備を市の



甲賀市民の大切な生命・財産を守る防人・消防団員

総合施策と位置づけ実施を。  
**建設部長・総政部長** 交通結節点の優位性に鑑み区域区分等の見直し、規制緩和で早期に対応。整備は再開発、複合施設も視野に。  
**Q** 消防団員欠員と今後の地域防災は。  
**危機統括監** 消防団員の役割は重要。再編計画の検討始めた。

田中 將之

**Q** 起業家育成のファンド組成を

**A** 有効であり具体的検討を進める



**Q** 一昔前まで起業する際は東京などの都市圏に集中していたが、近年では地方でも起業するケースが見られるようになった。我が市は県内一の工業生産額を誇るものづくりのまちであり、市の未来に向けて今後、起業家育成は大きな力となる。市外から起業家を集める域内経済、移住促進の活性化につなげてはどうか。そのための甲賀市販ベンチャーファンドを組成してはどうか。

**産経部長** ファンドの活用による起業者の増加がもたらす地域経済の活性化は、行政の視点のみならず、民間企業の視点に軸足を置いて、ビジネスの将来性や持続性を金融機関等のプロを中心に選別できるため有効な手段のひとつ。

忍者などの地域資源を活かした本市独自のベンチャーファンドを立ち上げるためには、既存のファンドとの差別化を図り、市の魅力を活かした確かなファンドの運営能力を持ったパートナー企業と取



り組むことが重要。ファンドの立ち上げや管理には費用も必要で、腕利きのファンド運営企業を選定した上でプレーヤーとなる有望な起業家を呼び込み育成する仕組みも必要。新産業特区プロジェクト検討委員会でもファンド組成は有効との提言もあり具体的検討を進める。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



一刻も早く改修が待たれる「長谷橋」(甲賀町地先)

森田 久生

Q

甲賀忍者の観光拠点施設の新設は

A

必要と考え今年度に方向性を示す



今回は、①老朽化が進む公共施設等の今後の維持管理について、②今年4月に日本遺産に認定された「甲賀忍者」を核とした観光振興について質問しました。

Q 老朽化が進む当市公共施設等の現状に対する市長の認識は。

市長 公共施設の老朽化問題は、緊急かつ最大の課題と認識している。計画的な財政運営を前提に、改修・更新・建直しを進める。

Q 「公共施設等管理計画」では、今後40年で公共建築延床面積の30%削減が目標となっている。どのようなスタンスで進めるのか。

市長 市民・議会との合意形成を大前提に、優先順位を明確にして、実行計画を策定したい。

Q 今年4月に甲賀忍者と信楽焼が日本遺産に同時認定された。市長の感想と、ブランド素材の活用は。

市長 世界に誇れる観光素材と考えている。甲賀忍者と信楽焼の二つの日本遺産を、観光客を誘導する周遊ルートの造成を進めたい。

Q 甲賀市と言えば「忍者」。忍者と言えば「必ず立ち寄る施設」が観光振興の面から当市に必要と考えるが、市長の認識は。

市長 当市独自の取組として、その必要性は認識している。日本遺産認定のこの時期を逸することなく、民間活力の最大限活用も考慮し、今年度中にその方向性を示す。

森嶋 克己

Q

忍者観光発信拠点と道の駅構想は

A

基本的な方向性は今年度中に示す



Q 甲賀忍者を紹介できる観光発信拠点と道の駅が必要と考えるが。

市長 甲賀忍者を核とする観光発信拠点施設は、日本遺産認定に伴い高い関心の中、必要性を認識している。「道の駅」や「物産館」という形態も含めた拠点を市民の皆様の見解を伺い検討を進める。

Q 時期は何時が良いと考えるか。

産経部長 日本遺産認定の機会を捉え早急に整備する必要があるが、場所・形態・機能について、市民の皆様との意見を集約する必要がある。一定の年数が必要。基本的な方向性については今年度中に示せるよう進める。

Q 甲南庁舎の跡を活用しては。

市長 観光客を受け入れる拠点施設として必ずしも相応しいものではないと考える。他の場所での整備をしっかりと検討していきたい。

Q 運営形態は。

産経部長 第三セクターによる



平成31年春に供用開始のJR甲南駅完成予想

指定管理方式や、PFI方式があるが、民間の活力を有効に活用できる手法を考えている。

Q JR草津線を「甲賀流忍者線」甲南駅を「甲賀流忍者駅」に呼称を変更しては。(提案)

市長 通称名という事であれば比較的ハードルが低いと思われる。草津線沿線の自治体やJR西日本等との協議・調整が必要。効果や費用、時期も含め検討する。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

白坂萬里子

Q 「子育て支援センター」を西部地域に

A 精力的・計画的に検討していく



Q 子育て支援センター(こども〜り)の反響と今後の計画は。

【ご政部長】 本年4月のオープンから7月まで、延べ9937人の利用で、月々増えている。「広くておもちゃがたくさんある・親子でご飯が食べられる・安心して一日遊べる」等、喜びの声がある一方で「ここも〜り迄の距離が遠い」等の声もある。今後の計画は「妊娠中のサロン」「育児軽減を目指す出産後の育児サロン」「障がい児と保護者の広場」などを計画している。

Q 人口が集中する西部地域での子育て施設整備も必要では。

【市長】 甲賀市全体を考慮に、精力的・計画的に検討していく。

Q 幼保・小中学校再編計画と今後の支援は。特に「認定こども園」のニーズが高いことから幼保の計画はスピード感で対処すべき。

【教育長】 タイミングを逸せぬよう、スピード感を持って進める。  
Q 廃校・休校になっている山内・



甲賀市子育て世代包括支援センター「こども〜り」てるてるパーク

鮎河地域の支援策は。

【市長】 地域の活性化を考えれば、弾力的な運用の民間活用が望ましく、「希望の拠点」となるよう、民間事業者の全国への公募や営業活動に取り組み精力的に進めていく。

Q 30歳代への乳がん検診に超音波検査の導入を。

【健福部長】 国の動向をみながら検討していく。

山岡 光広

Q 「甲賀市手話言語条例」の制定を

A 成果等をふまえ検討する



Q 国連で核兵器禁止条約が採択された。その認識と平和教育の一層の拡充を。

【市長】 残念ながら核兵器保有国の理解が得られず締結国には入っていない。

【教育長】 核兵器の完全な廃絶を求めたもの。唯一の被爆国として一日も早く地球上から核兵器がなくなることを強く願う。広島平和祈念式典への派遣、甲南中学校での平和行進など今後も平和学習の充実に努めていきたい。

Q 手話通訳が可能な職員は何人か。「手話言語条例」の制定を。

【健福部長】 10名程度。

【市長】 手話は言語であることを市民一人一人が認識し、聴覚障害者とのコミュニケーション手段として手話ができるような様々な施策を講じる必要がある。条例の制定は、条例が制定された団体での成果等をふまえて検討する。

Q 災害に強い福祉のまちづくりへ、この間問題点を指摘した「老

朽消防ホース」の更新状況は。

【危機統括監】 平成27年の調査時点で30年以上前の消防ホースは、1845本。うちこの間753本、40%が更新された。引き続き計画的に更新されるよう呼び掛けていく。

製造から30年を経過した消防ホース

H27年8月時点	この3年間の更新
1,845本	753本



Q 杣川と野洲川の合流地点まで、県が新たに洪水浸水想定区域を指定したがその対応は。ゲリラ豪雨等に対応するため、河川改修、河床の浚渫を抜本的に推進すべき。

【建設部長】 今後議論をふまえ適切に対応する。抜本的な河川整備促進のため、国直轄管理の拡大を要望していく。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



水口スポーツの森にある防災井戸

加藤 和孝

Q 住宅セーフティネット法の対応は

A 制度が具体化すれば速やかに対応



Q 避難所でお湯等を確保できるように災害協定を結んでおくべきでは。災害時に井戸水を生活用水として提供して頂ける防災井戸の認定登録制度を創設すべきでは。

危機統括監

飲料水供給装置を提供して頂ける民間企業との災害協定も含め、先進自治体の事例等を参考にして検討する。防災井戸の認定登録制度の創設に向け、市内における井戸の実態調査を行い、その活用を検討する。

Q 高齢者や障がい者等の賃貸住宅への入居を支援する改正住宅セーフティネット法が施行される。居住支援協議会の設置など、新たな制度に対応すべきでは。

建設部長

補助要件等が具体化されれば、速やかに対応する。甲賀市での居住支援協議会の設置については、先進自治体の情報を参考にし、不動産関係団体等と連携した取り組みを行えるよう検討する。

Q 健康長寿社会の実現に向け、筑波大学の久野教授が中心となって進められるスマートウエルネスシティ構想に甲賀市も参加するお考えはないか。

市長

この構想は、ハードの視点でのまちづくりの傾向がある。まず、部局を超えた連携によって、「第2次健康こうか21計画」における、本市にあった実効性ある取り組みを進めていく。

林田 久充

Q 観光振興計画の実行計画は

A DMOを組織し策定を進める



Q 観光振興計画を策定する意義は。

産経部長

市民の皆様との協働、地域資源を発掘、活用し、地域の雇用を産み出す等のまちづくりを目指す。観光の産業化を図り、人口減少の歯止めにも寄与できると考えている。

Q 産業化が進んだという成果指標はどのようなものか。

産経部長

観光消費額を指標としている。平成27年度実績の約147億円を平成32年度において約168億円としている。

Q 担い手の人々を交えた実行計画はどのように考えているか。

産経部長

東海道にぎわい再生に取り組んでいる団体等市内外を問わず「やる気のある人」たち等を支援する。今後、DMOを組織し、有効な実行計画の策定を進める。

Q 観光振興プログラムには、質の確保も重要である。DMO（観光地域づくりの法人）の議論は、

どのようなものか。

産経部長

プログラムにより、きめ細やかなサービスを提供しなければ、ビジネスとして成り立たない。ボランティア活動とDMOを互いにリンクさせ、「観光まちづくり」に繋がりたい。

Q 別府で始まった「オンパク」手法等を活用されてはどうか。

産経部長

「オンパク」等の手法を参考に、様々な観光ルートを創生しつつ、人材育成を図り、「観光まちづくり」に活かしたい。



観光振興計画の答申

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山中 善治

**Q** ボランティア活動とまちづくり

**A** 継続的となるため市の施策が重要



**Q** ボランティア活動（以下ボ・活）の意義や有益性は。

**市長** 多くの市民の皆様が様々なボ・活を展開いただき感謝申し上げます。

近年、自治会運営や福祉のみならず、災害救助や環境保全など多方面に活躍が期待される。今後、社会貢献や福祉活動への関心が高まり、さらに住みよい地域づくりが推進されることを期待する。

活動が継続的となるための市の施策が重要と考える。

**Q** ボ・活の課題は。

**総政部長** 活動のすそ野を広げるための情報発信や専門性のある人材の確保、あらゆる世代からの活動参加、地域内の連携強化が必要と認識する。整備進行中の（仮）甲賀市まちづくりコア・ステーションを効果的に運営することで、今まで以上に活性化することと考える。

**Q** 地域おこし協力隊の目的と今後は。

**総政部長** 隊員の新しい視点での活動が展開され、地域に活力が得られること。隊員の特技を生かした職業の創設や地域産業の担い手として従事し、将来的に定住を目指す。

**市長** 協力隊の受け入れについては、地域のサポートが不可欠。地域のニーズを調査し、隊員がより力を発揮できる取り組みを進める。

ボランティア活動参加率 滋賀県全国1位

平成28年度 ボランティア参加率 (読売新聞)			
1位 滋賀県	33.9%	2位 岐阜県	3位 島根県
理由 ①びわ湖を守ってきた共助精神の浸透。 ②自治会活動の活発な県民性 ③他人を気にかかけ、気持ちにゆとりのある人が多い。			

田中 新人

**Q** 市道、泉・北脇幹線の対応計画は

**A** 今年度は一部地形測量の準備



**Q** 市道泉・北脇幹線の早急な対応計画は。

**建設部長** 区域内には、民間による単独開発が行われてきたため、平成28年度に予備設計を行い、今年度は、一部地形測量の準備を行っている。道路事業のみを先行整備する場合、道路法面等の用地の確保や田畑への乗り入れ処理・低い土地への排水処理などの課題が多数あり、再度の土地区画整理事業の立ち上げや、民間開発を基本とした事業着手が必要である。

**Q** 里道と公有地の関係は。

**建設部長** 北脇土地区画整理事業で予定していた区域の中には、里道・水路が法定外公共物として国から無償譲渡され、市が管理している土地がある。既に開発された土地の中には開発時に市有地を集約し管理している土地がある。

**Q** 公有地について。

**建設部長** 市道泉・北脇幹線の道路面積は、約1万2400㎡が必要で、公有地を集約した面積で



市道泉・北脇幹線

は不足することが予想される。

**Q** 日本女子ソフトボール1部リーグ甲賀市開催で「見るスポーツ」の推進は、子供たちにいい影響が。

**教育部長** 全国規模の大会で、トッププレイヤーが参加するハイレベルの試合が予測され、大会パレット等を、学校を通じて児童や保護者へ配布し参加を周知する。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

安井 直明

Q 学校給食を無料に

A 財源確保等の検討課題だ



Q 国の憲法改悪・9条に対して市民を守る立場から市長の所見を問う。

市長 戦争の無益さ、悲惨さ、残酷さを次世代に伝え、バトンを次世代に繋ぐことが大切。9条は大きな役割を果たしてきた。9条が今までのままでいいのか、責任ある議論を国会でされることを望む。

Q 市民の切実な願い、学校給食無料化を新年度予算に反映せよ。

市長 義務教育における給食をどう考えるか、費用対効果、事業間のバランス等総合的に勘案。無償化4億円の財源確保等検討する施策だ。

教育長 全国的

課題、国の動向も注視し研究する。



学校給食を無料に

Q クリーンセンター滋賀建設事業に関する協定書に記載の「土山町地域振興計画書」の今後は。

総政部長 22事業のうち残12が未完成。助成金では進捗率は51%。片山今宿の側溝整備、北土山猪鼻線の改良、茶施設整備を実施中。今後地域の実情に沿って実施する。



整備された片山今宿線

Q 二元代表制の元、今後の議会への対応と望むものは。

市長 双方がそれぞれの役割と責務を果たし、市民にとって最善の施策を建設的に生み出す場になることを望む。

谷永 兼二

Q 地域医療連携の課題は

A 職員配置、医療スタッフの確保



Q 地域医療連携は、退院支援・日常の療養支援・急変時の対応・看取り等様々な場面で必要である。在宅医療と介護の連携を支える関係機関の現状と課題は。

健福部長 甲賀圏域は県内でも最も医師数が少ない地域で、訪問診療を行う医師の確保が課題。24時間訪問看護を実現する看護師の確保には至っていない。介護を頼むことができるシステム、介護者を支えるシステムの構築が課題と考える。

Q 在宅医療システム構築の進捗状況は。

健福部長 本市はすでに着手しており、今年度は訪問診療を行う医師の協力体制の構築、レスパイト入院、在宅でのリハビリテーションの仕組みづくりに重点を置いている。

Q 信楽中央病院の地域連携の現状は。

健福部長 病院内に地域連携室を設けて、担当の看護師と臨時職

員が、病院間で回復期の患者の受け入れ調整を行い、早期退院に向けて支援を行っている。入院中に退院後の医療・介護サービスの利用調整を行い、安心して自宅で療養いただけるよう関係機関と連携した退院支援を行っている。

Q 人材不足や専門職の未配置が課題と考えるが、改善を。





# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 律子

生活困窮者支援は包括的体制で

関係機関との情報提供が大切



Q 本制度には就労準備支援・一時生活支援・家計相談支援・学習支援等がある。対応への成果と課題を問う。

健福部長 包括的支援として「自立相談支援事業」があり、225名の対応を行い、内容に応じたサービスにつなげた。事情に応じた住居を失った4名の方には宿泊場所や衣食の提供、併せて就労支援を行い自立につなげた。複合化した問題や長期化する傾向にもある。

Q 学習支援事業では早期把握対応への取り組みが必要だ。学校での人員確保・専門性等支援の実情は。

健福部長 指導員には専門的知識が必要。地域社会・母親に対する見方も勉強していかなくてはならない。市独自の研修も考慮。

Q 教育委員会・学校との連携は。またスクールソーシャルワーカーの確保は充分か。

健福部長 教育委員会の学力育成

成指導員と共に、定期的に市内小中を訪問し、子どもの情報共有を図っている。SSW(スクールソーシャルワーカー)は29年度3名増員し、県の1名とで4名を学校に配置。所管部との情報交換を更にする。

Q 学習支援事業の今後と継続性は。

健福部長 支援が必要な子どもたちが、将来に夢を持てるよう充実を図り負の連鎖の解決に努める。

※甲賀の地方創生について質問



“学んでいこか” 子ども食堂のようす

橋本 恒典

市周辺部の現状と活性化は

支援体制の強化が必要



Q 市周辺部の現状と課題は。

市長 特に中山間地域では人口減少により活気が失われつつあり、買い物・医療等のサービスの縮小や空き家・空き店舗や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの機能の低下などの課題がある。

Q 市周辺部の高齢化率と人口減少の状況は。

総政部長 平成27年の国勢調査では水口町は19・5%、土山町は32・9%、甲賀町は32・4%、甲南町は24・1%、信楽町は32・0%で、平成22年と比べ土山町で512人、甲賀町で734人、信楽町で397人減少している。

Q 市街化調整区域における市の取り組みは。

建設部長 定住人口の増加につながるため、4月から市街化調整区域において建築の規制緩和を実施した。

Q 中山間地域における市の取り組みと中山間地域等直接支払制度の現状は。

産経部長 営農活動を行う場合の支援や、中山間地域等直接支払制度では44集落435haに対し交付金の交付を行っている。

Q 市周辺部の今後の活性化に対する考えは。

市長 市周辺部の活性化は、いかに行政が部局横断で支援できるかにかかっており、その支援体制の強化が必要と考えている。

他に青少年団体活動の現状と市の支援・広島平和記念事業について質問しました。



条件が不利な中山間地の農業

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

竹若 茂國

**Q** 障がい者スポーツの普及を

**A** 専門の指導者と施設が必要



**Q** 甲南庁舎を甲賀忍者拠点施設に。

**市長** 忍者はおのずと甲南・甲賀地域となる。庁舎が観光に相応しいかどうか住民理解のもと検討したい。



甲賀忍者

**Q** 体育、文教施設の一元化を。

**教育部長** 合併後13年が経過し合併協議会で決まっていることであり一元化に向けて鋭意すすめる。

**市長** 全体的なスケールメリットを再度洗い出し、合理的な経営に努めたい。

**Q** 障がい者スポーツの普及を。

**教育部長** 障がいのある人が、競技スポーツ等を通じてスポーツの楽しさを体験し、障がいの有無に関わらずスポーツを行う社会を実現するために、様々な支援をすすめる。

**Q** 「日本遺産忍びの里甲賀・伊賀」をまちづくりにご活用のか。

**市長** 地域の歴史と文化に誇りを持ち多様な観光資源を活かして財源、働く場、地域の宝を守り育て磨き上げ、地域の観光産業振興による経済の好循環をはかりたい。



障がい者スポーツ

小西喜代次

**Q** 長野・雲井間のコミバスの運行を

**A** 信楽高原鉄道との競合を避けたい



**Q** 学校給食センターの総事業予算はいくらか。建設予定地は9千㎡、一億円以内で確保としていたが、変更はないか。

**教育部長** 現時点での総事業費概算は24億3千万円。予定地は山林、現在測量中で、測量結果をもとに決定する。

**Q** 信楽運動公園の野球場の草、松枯れ、切れたままの外灯、管理人不在の時間帯の解消への対応は。

**建設部長** 野球場の草、松枯れは対応した。外灯は5カ所を優先して改善した。管理人の配置は検討する。

**Q** コミバスの10月からの見直しでは、雲井・長野間の運行を願う住民の声には応えていない、再検討を。80歳以上の無料乗車券を75才まで拡充、信楽高原鉄道にも無料乗車券制度の導入を。

**建設部長** コミバスと信楽高原鉄道との競合は避けたい。無料制度の拡充は収益改善後に対応。

**Q** 学校トイレの洋式化ですべてを洗浄便座に。雲井小学校などのグラウンドトイレの洋式化、改善を。

**教育部長** 全ての洗浄便座化には一億円追加が必要。グラウンドトイレの改善は検討する。



地域からも改善の要望が強い、雲井小学校のグラウンドにあるトイレ

**Q** 信楽のアレフ施設へ対応を。

**市環部長** 団体の解散を求める法整備を政府に求めている。地域住民の不安解消に努めたい。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

土山 定信

Q 産廃処理場とは緊張関係を

A 立ち入り検査は検討する



Q 当初地元等の説明で、川に流れない為の4重の安全とは過剰ではないか。

市環部長 市としては、2重シート、ベントナイト、鉛直遮水壁と説明を受けている。

Q そのような部分もあると説明すべきだったと思う。次に60年に一度の大雨でも耐えるとの説明は、誤解を受けるのではないか。

市環部長 市としては、そのように公社から説明を受けている。

Q 施設の能力だと言うなら私は納得しない。そのような方法で言い換えるべきである。次に展開検査は、すべて展開検査場で行わないことは、地元や環境監視委員会で報告されているが、展開検査の場所が埋め戻す場所というのなら、確認した氏名、また写真撮影は、市として把握しているのか。

市環部長 前回の質問から、今までの分の写真等は、市として確認した。

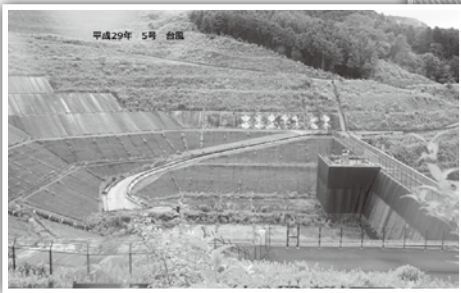
Q 市として、協定書に基づく立

ち入り検査を実施すべきではないか。

市長 実施を検討していく。



平成25年18号台風の朝



今年29年の8月5号台風の朝、手法があるのです。

Q 創造都市甲賀として、現存の取組と今後について。

教育長 本市は、平成26年に創造都市ネットワークに加入しながら、これまで十分に活かすきれていないように理解している。

Q 創造都市甲賀を目指すには、日本遺産との関係も考えていかなければならない。現在の認識と取組及び今後について問う。

市長 本市では、平成26年7月に創造都市ネットワーク日本に加盟した。その取り組みと日本遺産の取り組みとは、相通じるところが多くある。この度、「忍者」「信楽焼」が日本遺産の認定されたので、是非、本市の持つ魅力を観光振興につなげる取り組みに活かしたい。その際、創造都市ネットワークの国際的な取り組みと連動させ活用しながら発信に努める。

Q 信楽焼の保護と活用について29年度から始まった信楽焼製造技術総合調査について問う。

教育部長 従来、信楽焼は、工

小河 文人

Q 文化芸術歴史を発信し観光振興に

A 日本遺産認定を契機に取組みたい



芸品としてまた考古学の資料として取り上げられることが多かったが、生産者の世代交代が進み、登り窯の使用など伝統的な製陶技術を伝える職人さんが減少してきていて、早急に聞き取り調査を実施する必要があります。職人さんへの調査を進め、信楽焼の特色を残す伝統的な製造工程や製造技術を明らかにし記録に残すことを目的とし、併せて製造用具についても収集していく。

また3年計画で国の重要有形文化遺産の認定を目指す。



# こうか再発見

市内の文化財⑧

水口町城東

水口教会 (国登録)

この教会は、昭和5年11月、W・M・ヴォーリズの近江ミッション（後の近江兄弟社）により牧師館とともに建てられたものです。

設計は、ヴォーリズ設計事務所。木造平屋建てのモルタル仕上げで、当初の屋根はスレート葺きでした。礼拝堂に続く畳敷きの和室は異風な空間を演出しています。

住宅建築を基調としたシンプルな外観は、宿場の町並みに新しい風をもたらしています。

(引用：市教育委員会「甲賀を繙く」)



## 紙面づくりに苦勞した面々 広報特別委員会委員

それぞれのアイデアを生かした紙面づくりを心がけ、2年間、毎号苦勞して編集作業をしてきました。



(写真左から)

小河文人、土山定信、安井直明、田中将之、片山修、橋本律子、山中善治、田中喜克

### お詫びと訂正

前51号において、5ページの意見書中、谷永兼二議員の賛否が「安倍政権のもとでの憲法改悪に反対することを求める意見書」について「○賛成」となっているのを「●反対」に、「高浜原発の再稼働に抗議し、運転停止を求める意見書」について「●反対」となっているのを「○賛成」に、また、14ページの加藤和孝議員の一般質問中「改正がん対策基本法が求めている患者の治療と仕事の両立に配慮を」の質問の答弁者を「健福部長」から「市長」に訂正してお詫びいたします。

## 編集後記

▶10月今期で市議会も改選。総選挙も実施されます。日本の今後の動向や、身近な暮らしに関わる、いずれも大切な選挙です。ぜひ、投票に行きあなたの大切な1票を行使しましょう。▶広報委員もこの号が最後となります。「市民目線で、市民の声を大切に」「より開かれた議会に」と心がけてきました。まだまだ、十分ではありませんが、表彰も受けてきました。▶改選された委員で作る新しい議会広報も、みなさんとともに考え、声が反映される編集になるよう期待しています。

(広報特別委員 安井直明)

## 12月議会の予定

11月29日	本会議(第1日)議案上程
12月6日	本会議(第2日)議案審議
12月8日	本会議(第3日)一般質問
12月11日	本会議(第4日)一般質問
12月12日	本会議(第5日)一般質問
12月13日	本会議(第6日)一般質問
12月14日	委員会
12月15日	
12月18日	
12月19日	委員会予備日
12月20日	
12月22日	本会議(第7日)最終日

## カメラの



表紙の写真は、甲賀市立土山小学校の運動会の様子です。

今年から加わった市内小学校の子どもたちにとっては、初めてのたくさんの友だちとの運動会でしたが、これまでにない達成感や満足感を感じ、一人ひとりのさわやかな笑顔がとても印象的でした。



(写真担当：土山定信委員)